

TALK
BACK
SESSION

映画『トークバック 沈黙を破る女たち』
上映会ご希望の方へ…

■ 自主上映規定

① 基本上映料50名まで 50,000円

入場者50名を超えた場合には1名につき1,000円が加算されます。

例)入場者70人の場合 50,000円+20,000円(内訳 1,000円×20人)=70,000円

【上映料に含まれるもの】

1回の上映権、基本宣伝物(チラシ200部、ポスター2枚)、基本宣伝物および上映素材の送料

② 上映の申し込み

まずは、メールかFAXにて、下記までご相談ください。

その際、「トークバック自主上映希望」と明記のうえ、お名前、ご連絡先、団体名、
上映予定の市町村名、監督のトーク希望の有無などをお知らせください。

◎連絡先 メール:outofframe@jcom.home.ne.jp

fax: 042-573-4777

上映会の詳細が決定した段階で、契約書を交わし、申し込み手続きが終了となります。

③ 上映素材…ブルーレイ/DVD(スクリーン・サイズ…ビスタサイズ(16:9))

ご返却は、上映から5日以内をお願いします。

④ 宣伝物の追加も有料で受け付けます(送料別途)

チラシ 1部10円、ポスター(A2サイズ)1枚 150円

⑤ 監督/監督×ゲストのトークもしくはワークショップを企画する

監督やゲストのイベントをご希望の際は、上映会申し込み時にご要望をお伝えください。

目的や希望に合わせたイベントをご提案させていただくことも可能です。

ただし、監督やゲストにはそれぞれ交通費・講師料(講師や条件によって金額は異なる)が
かかります。お気軽に、お問い合わせください。

◎表示価格はすべて税別です。



TALK BACKを持って帰ろう!
Goods販売!!

トークバックのトートバッグ(1000円)

トークバックフォルダー(300円)、パンフレット(600円)

*上映会費およびグッズの収益金は、次回作の制作費となります。



連絡先

outofframe@jcom.home.ne.jp

〒168-0072 東京都杉並区高井戸東2-5-25 福島方 映画「トークバック」事務局

トークバック・セッション

TALK
BACK
SESSION

映画『トークバック 沈黙を破る女たち』

自主上映会のお誘い



あなたの地域でも、映画『トークバック』の

上映 + トークバック [語り合い] をしてみませんか?

『トークバック』とは 『声をあげ』、人々と『呼応しあう』こと。

私たちのアマチュア劇団——舞台はサンフランシスコ。
元受刑者と HIV/AIDS 陽性者が、自分たちの人生を芝居にした。
暴力にさらされ、“どん底”を生き抜いてきた私たちの現実とファンタジー。
舞台上、日常で、トークバック（声をあげ、呼応）する女たち。
彼女たちの演劇は芸術か、治療か、それとも革命か？



トークバック・セッションとは……

映画の中で紹介されていた、芝居上映後に持たれる質疑応答の場。
これを実際に体験してみませんか？ 映画を見た後に、感想や自分の事などを、
普段は話す機会のない人々と語りあう。勿論話しを聞くだけでも…
そこに新しい『何か』が見えてくるかもしれません。

トークバック

www.talkbackoutloud.com

坂上 香 監督作品
『ライフファースト 終身刑を越えて』 沈黙を破る女たち

ドキュメンタリー映画 | 2013年 | 日本 | HD | カラー | 英語 | 日本語字幕付 | 119分
監督・製作・編集：坂上 香 | 共同プロデューサー：麻生 歩 | 撮影：南 幸男 | 録音：森 英司
音楽：伊藤 彰教 | ポストプロダクション：Neo P&T | 製作協力：トークバック応援団 | 製作・配給：out of frame



TALK
BACK
SESSION

トークバック・セッション トークバックは、今やちょっとしたブーム。映画鑑賞後、様々な形でトークバック・セッションが行われ、反響を呼んでいます。
上映会の方法はひとつではありません—— まずは、ご相談ください！

方法
1

監督やゲストを招いて…

監督、または監督×ゲスト——そして観客の皆さんとトークバック

◎いままでお招きしたゲスト

上野千鶴子さん(社会学者)、ピーター・バラカンさん(音楽評論家)、坂手洋二さん(劇作家・演出家)
アベ総理 [ザ・ニューズペーパー](コト集団)、信田さよ子さん(臨床心理士)
生島嗣さん(ぶれいす東京代表)、岡野八代さん(同志社大学教授)、上田假奈代さん(詩人)
花崎攝さん(ワークショップコーディネーター)、綾屋紗月さん(発達障害当事者研究者)
依存症者回復支援団体(ダルク等)のスタッフ、新井英夫さん(体奏家) 他

方法
2

@カフェでの上映会——ドリンク付きで、フリートーク

◎テーマを設定してより深く

例：生きづらさをぶっ飛ばせ！/DVや暴力をなくすために
HIV/AIDSと共に生きる社会/男女共同参画社会/女性限定/社会復帰
新しいコミュニティをつくる/子育て支援/トラウマと表現 他

方法
3

ワークショップ——語る+@のクリエイティブな空間

映画の感想を詩にする……身体で気持ちを表現する……音を一緒に奏でる……

トークバック・セッションは通常、2時間の映画上映後、10分程度の休憩をとり、その後30分~1時間程度で行っています。また、これを拡大展開したイベント・シンポジウムの実績もあります。

上映形態、規模、トークバック・セッションの進行の仕方…自分たちに出来るか心配という方、まずは、ご相談ください。そこからまた、新しい『何か』が生み出されるかもしれません。

